

ANIMAL CENTER NEWS

No . 4

目次

◆[重要] 実験動物の感染症対策について

◆機器予約システムについて

～確定申請は必ずしましょう！～

◆！センター内転倒注意！

◆慰霊祭

◆平成 29 年度大学院博士課程選択実習を実施しました

◆動物剃毛用電気バリカンを設置しました

◆臨時行動実験室について

◆222 処置室兼オープンラボ室について

◆トレッドミルがマウスも使用可能になりました

◆センター内機器更新希望のアンケート調査結果について



(写真 1) : 岐阜の雪山

◆**[重要] 実験動物の感染症対策について**

日頃から十分注意されていることと存じますが、実験動物の感染症対策のため下記事項の厳守を改めてよろしくお願いいたします。

- センター外の動物に触れた後の入館はご遠慮ください。
- パスボックスに入らない機器を持ち込む際には、毎回、職員にご相談ください。
持ち込み機器には部局名を明記してください。所在不明の機器はこちらで撤去いたします。
- 職員の断りなく、他の飼育室へ入室しないでください。
- 職員の断りなく、動物の飼育室間の移動、講座間の移動をしないでください。
- 飼育室や処置室の利用後は軽く掃除をお願いします。
- センター外へ搬出した動物やケージはセンター内に持ち込まないでください。

◆**機器予約システムについて ～確定申請は必ずしましょう！～**

昨年 10 月から ADRES 動物実験部門でも機器予約システムの運用が始まりました。

動物センター内の機器や処置室を利用される場合、動物やケージの増減が発生した場合はシステムに必ず入力してください。よろしくお願いいたします。

また、機器や処置室を利用した後には実際の使用時間を申告していただくために、マイページから確定処理が必要です。確定処理がない場合、予約時の時間や使用量から料金を算出しますので、ご了承ください。

ご不明な点やご質問等ございましたら、動物実験部門管理室（5446）にご連絡ください。

よくあるご質問と対応について

Q. 動物増減システムで増減届に入力すると入力値の倍の数値で計算されてしまいます。

A. ブラウザの違いによる誤作動でした。現在は解決しています。

Q. 機器を予約する場合、設置している処置室と機器の予約の両方必要でしょうか？

A. 機器のみの予約で構いません。

Q. 処置室のみの使用ですが、予約は必要ですか？

A. 料金は発生しませんが、他の利用者の方とのバッティングを防ぐためにも予約をお願いいたします。

Q. 2F の麻酔薬（イソフルラン）の予約が 1 種類しかなく、他の利用者と利用時間が重なってしまい、予約できないことがあります。

A. 麻酔薬の配置されている場所ごとに予約できるようにいたしました。

◆！センター内転倒注意！

動物センター内のネズミ返しでつまずき、転倒して怪我をする事故がありました。十分注意をして下さい。また転倒のきっかけとなったネズミ返しは、引っかけた際に倒れるようにマグネット式に変更しました。

センター内の廊下も、ワックスで滑りやすくなっています。転倒しないように十分注意をお願いします。

◆慰霊祭

去る平成 29 年 9 月 29 日（金）、平成 29 年度実験動物体慰霊祭が 128 名の参列者を得て、慰霊碑前で執り行われました。参列者は黙祷を捧げた後に献花を行い、実験動物の冥福を祈りました。



(写真 2) 慰霊祭参列の様子

◆平成 29 年度大学院博士課程選択実習を実施しました

去る平成 29 年 12 月 14 日に、下記内容の平成 29 年度大学院博士課程選択実習を実施しました。3 名の大学院生が参加し、実際に動物を取り扱いながら、日常の動物実験作業に必要な不可欠な手技を習得して頂きました。

実習タイトル：動物実験の基礎

指導教員：今井祐記、佐伯法学

所属：ADRES 動物実験部門／PROS 病態生理解析部門

実施時期：12 月 14 日（木） 15:00～17:00

場所：機能系実習室 1

対象動物：マウス・ラット・モルモット

内容：保定法、投与法（腹腔内、尾静脈、経口）、採血法、麻酔法（注射および吸入麻酔器を使った麻酔）、安楽死法など

◆動物剃毛用電気バリカンを設置しました

動物実験センター3階の処置室 324号室に小動物用電気バリカン(MODEL 2000AD、スライヴ株式会社)を設置しました。動物の手術に伴う剃毛時にお使いください。なお、共同利用機器予約システムにおいて予約は不要ですが、利用時には処置室の予約をよろしくお願いいたします。

*利用上の注意点

- ・当処置室内にておいてのみ、お使いください。
- ・使用後は充電にご協力ください。



◆臨時行動実験室について

246室より二光子励起顕微鏡および付属機材を搬出したことに伴い、246-B室にラット用ロータロッドとマウス・ラット用トレッドミルを移動させ、臨時行動実験室として運用を開始いたしました。ご利用の方は機器予約システムよりご予約頂きますようお願いいたします。

◆222 処置室兼オープンラボ室について

ラット用処置室需要の増加に伴い、222 処置室兼オープンラボ室を 222-A室と 222-B室に仕切りました。なお、吸入麻酔器は 222-A室に設置してありますので、ご予約の際はご注意ください。

◆トレッドミルがマウスも使用可能になりました

246-B室に設置してあるトレッドミルは、ラットにのみご利用可能となっておりますが、マウスにも使用可能なように部品を設置いたしました。是非ご利用下さいますようご案内いたします。なお、トレッドミルをご利用の際は、必ず機器予約システムからのご予約をお願いいたします。

◆センター内機器更新希望のアンケート調査結果について

麻酔器、MRI、トレッドミルの更新のご要望を多数頂きました。

麻酔器は、2階にマウス用・ラット用がそれぞれ1台ずつ、3階に2台設置していますのでご利用ください。

MRIは不具合がありましたが、点検調整を行い、以前よりも画像が鮮明になっています。

また、トレッドミルは、仕切り板をいれ、マウスにも使用できるようになりました。

X線照射装置については来年度購入予定です。